整理番号	44001		
評価対象年度	令和4年度		
編成区分	当初		

## 事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年12月8日
事業担当課	学校教育課

## ≪基本情報≫

事務事業名	子ども国際会議					
甘木塩等	G1 長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます					
基本施策	A3 国際性を豊かにします					
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなってい る)	なにが	どうなっている				
	子どもが	長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新 たな時代を強く生き抜く力を身に付けている。				
	市民が	文化の違いを理解し、世界の人と活発に交流している。				
個 別 施 策	G1-1 「確かな学力」の向上を図ります					
凹 別 心 束	A3-1 国際交流・国際理解の機会の充実を図ります					
	なにが	どうなっている				
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなってい る)	子どもが	自ら学び、自ら考え、判断して主体的に行動できる「確かな学力」を身に付けている。				
	市民が	国際交流を体験し、国際的な理解を高めている。				

## ≪事業の目的及び現在の取組み概要等≫

W. S. March H. B. B. M. D. C. B. M. D. D.								
現状・問題点	グローバルな時代にありながら、外国人との交流については、ALTと授業等で接する機会はあるものの、外国の子どもと交流する機会はほとんどないことから、外国の同年代が何を考え、どのような行動をしているかや意見を交流することはほぼなく、子どもが自分の視野を広げるような取組ができていない。							
目標(誰(何)をどのよう な状態にしたいのか)	国際化が進むこれからの時代にふさわしく、自ら進んで外国人と交流しようとする国際感覚豊かな子どもの育成を図るとともに、環境について世界的視野をもって深く考えるきっかけとする。							
課題(どういうことをする 必要があるのか)	グローバルな時代を生きる今の子どもにとって、実際に外国人の子どもと意見を交流し、同年代の子どもの考えや行動を知り、子ども自身の視野を広げる必要がる。							

上記の問題点に対して
現在行っている事業の
有無

有 · (無)

※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)

当該新規・拡大事業を 行うにあたり、縮小・統 合・廃止する事業

有 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事 務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

≪事業の概要≫

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業 期間、総事業費、事業 費内訳等記載)				出島メッセ長崎とライデン市をオンラインで結び、長崎市立学校の小学生68名(各市立小学校の高学年から1名)とライデン市の小学生で環境問題についての意見交換を行うことで長崎市第五次総合計画が目指す2030年の姿である「平和な世界、持続可能な世界の実現に貢献します」や第2期教育大綱の基本理念である「長崎の未来を創るひとづくり」の実現を目指す。 (1) 内容・環境問題に関する講演・ライデン市の子どもたちとの意見交換 (2) 日時 令和〇年8月〇日(〇)17時30分~19時(1時間30分程度を予定)※オランダ現地時間 10時30分~12時(-7時間の時差) (3) 会場出島メッセ長崎(コンベンションホール 4分の1)をメイン会場とし、オランダ ライデン市とオンラインで結ぶ。 (4)参加対象者と参加人数 ①出島メッセ:市内小学生(68名 *各学校から1名選出)とその保護者や家族(170名)、教員(68名):合計306名 ②ライデン市の子どもたち 【総事業費】 2,442千円【内訳】会場使用料(出島メッセ) 330,000円 行属設備 356,920円 看板 115,500円 設営、撤去サービス 55,000円 20,000円 報覧費 1,394,855円 インターネット環境構築 1,394,855円 インターネット環境構築 1,150円 報償費 20,000円								
 業務量の増減			360時間									
市民等の参画と 協働のまちづくり			☑ 情報共有 ☑ 参画 ☑ 協働									
(取組みに☑をし、 その内容を記載)												
	事 業	期	間	✓ 単年原	——— 芰		り返し 🗌	期間	限定(	年度~	年	度 )
				金額(千)		国	県	地	方債	その	他	一般財源
予算額	当	年	度		2,442							2,442
額	総		額	2,442								2,442
	財派	原名	称									
成	指標	真(革	(位)			『環境問題をテーマに外国の子供と まった子どもの割合		子供と	:意見交換を行った結果 		:結果	、国際交流に
果(活	年		度	令和4年度		令和5年度	令和6年度		令和7年度		,	令和8年度
活動	目	標	値		90%							
) 指標			票及び )説明			した児童にアン いての意欲が高						

## 評 価 結 果

(1)今後の事業の方向性と理由							
	✓ 所管案のとおり	□ 事業のやり方改善	□ 事業規模拡大	□ 事業規模縮小			
☑ 採択	□事業統廃合	□ その他					
□ 不採択	□ 企画不十分						
□ 一部不採択	□ 企画不十分						
(2) 評価会議における指摘事項 グローバルな時代を生きる子どもたちが、実際に外国の子どもたちと交流し、自分自身の視野を広げる機会をつくるため、市内小学校の子どもたちとライデン市の子どもたちをオンラインでつなぎ、共通課題である環境問題をテーマに交流を行うものである。 環境問題を通して、外国の子どもたちと交流することで、環境問題に対する関心を高めることはもとより、国際感覚豊							
かな子どもの育成につながることから、事業の実施は適当である。 ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。							
【事業実施に対する意見】 子ども国際会議の成果を市内全学校の子どもたちに共有できるよう、工夫(ライブ又はアーカイブ配信など)すること。							